

## 家族

10月は「神無月(かんなづき)」と言われています。旧暦の10月は現在の島根県、出雲国いずものくにの出雲大社に全国やおよろずの八百万の神様が集まる言い伝えがあり、神無月と言われるようになったという説があります。年に一度、出雲大社に集まられた神様方は人の運命や縁(婚姻の相談や人の出会い)を相談されると言われています。出雲大社の地である出雲国(島根県)では「神在月かみありづき」と言われるそうです。

人との出会いほど不思議なことはありません。あの時あの場所に行っていなければ出会えなかった縁があります。あの学校やあの仕事先と関わっていなければ得られなかった出会いがあります。長い人生の中で、様々な出会いや縁によって今があり、中でも家族こそこの不思議な縁と言えるのではないのでしょうか。かつてあるテレビ番組で、若い親子が食事をする姿を紹介する番組がありました。食事の前に「黙想」と父親が告げると、一家そろって目を閉じ、手を合わせて数十秒間の黙想をしていました。父親にインタビューすると、「食事のマナーやしつけは大切なことだから、これが我が家のルールです。」と言っていました。子どもたちは、父親のことが大好きらしく、父親以上に沢山のご飯を食べた後、子供は誇らしげに「お父さんより食べたよ」と父に伝えると、父親はちょっと複雑に笑いながら悔しがっていました。とっても微笑ましく素敵な親子でした。

人類の歴史は数百万年の時間になります。長い人類の歴史の中で、親と子の関係や子の自立を見据えた関係はいつも存在しています。しかし、時代の推移により少しずつ視点が違ってきていると感じています。近年、新聞報道やニュースで親子関係において、命に関わる重大事件を伝えることが目にとまります。また、虐待であるとかしつけと称した暴行や殺傷事件も目にするがあります。時代の変化や情報化の進展や社会情勢の変化に伴い、それぞれの家庭個々の生活のあり方や家族の過ごし方や親子関係に差異があるものです。しかし、どのような時代であっても、社会情勢の変化があったとしても、親子の関係や家庭での子への関わりあい方で、変わってほしくないもの、変わらずに大切にしていけるものがあります。家族とは、人と人との関係の大本です。いつの時代であっても人間関係や親子関係を作り上げるものには、「愛の無い」関係はないと言えます。

親は、子に対して親の自己満足や理想のみを追い求めたかたちではなく、子に対する無償の愛と子どもの確かな成長を願う姿と、(親が親としての責任を自覚し)子が将来を自らの力で選択し判断をしていく自信と、自分で立ち向かう心と姿勢を育てて支えていくものと考えます。そして、社会と人との関係を子どもたちが築いていく力を身につけさせることが、親の役割だと考えます。

- 批判ばかり受けて育った子は非難ばかりします
- 敵意にみちた中で育った子はだれとでも戦います
- ひやかしを受けて育った子ははにかみ屋になります
- ねたみを受けて育った子はいつも悪いことをしているような気持ちになります
- 心が寛大な人の中で育った子はがまん強くなります
- はげましを受けて育った子は自信を持ちます
- ほめられる中で育った子はいつも感謝することを知ります
- 公明正大な中で育った子は正義心を持ちます
- 思いやりのある中で育った子は信仰心を持ちます
- 人に認めてもらえる中で育った子は自分を大事にします
- 仲間の愛の中で育った子は世界に愛を見つけます

(「[アメリカ・インディアン](#)の教え」 加藤諦三 著)

## 学芸発表会 合唱練習



10月28日(土)に、学芸発表会が行われます。本校では、午前が合唱コンクール、午後が部活や学習発表というプログラムになっており、10月16日(月)から27日(金)まで、延べ2週間の練習期間を設けています。

練習期間中、音楽の授業と6時間目に練習時間があり、生徒たちが一生懸命練習に励んでいました。各学年、練習期間の初めにあった学年練習では、声が出なかったり、音程がとれなかったりした合唱が、この2週間で見違える合唱になってきました。本番当日は、どんな合唱を聴けるのだろうと、非常に楽しみにしています。

今年度のスローガン「古今無奏」に込められた想いのように、他に類をみないクラス全員での奏でが響き渡る合唱コンクールとなるでしょう。

## 小中合同あいさつ運動



10月19日(木)と10月20日(金)の2日間で、荻窪中学校生徒会役員と井荻小学校児童会役員とが協力したあいさつ運動が、井荻小学校校門で行われました。爽やかな秋晴れの下、役員の子供生徒は、「おはようございます。」と、登校する児童生徒に気持ちの良いあいさつをしていました。

当初、生徒会役員と児童会役員のメンバーのみの参加予定でしたが、あいさつの元気の良さや雰囲気の良いことから、登校する生徒が、「自分も参加します。」と、途中からあいさつ運動に参加し、時間を追うごとに人数が増えていきました。

2日目になると、途中からではなく、朝早い最初の時間から参加する生徒も多数でした。人のためになることや、他の人が頑張っていることに自らも参加したいという気持ちが垣間見え、気持ちの良い活動となりました。

荻中生と井荻小児童が、協力・連携をしたこの「あいさつ運動」は、2日間の開催でしたが、両学校にとって大変有意義な活動になりました。

### これからの予定

10月28日(土) 学芸発表会	11月2日(木) 2年校外学習
10月30日(月) 振替休業日	11月11日(土) 道徳授業地区公開講座
10月31日(火)～11月8日(水)3年三者面談	11月20日(月)～22日(水) 定期考査Ⅲ
11月1日(水) 1年校外学習	11月26日(日) 3年スピーキングテスト